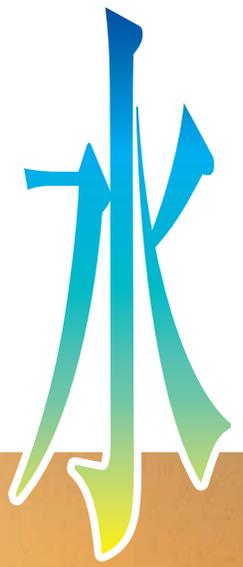


No.104

令和4年1月号

# よみがえる水

【KJKだより】



公益  
社団法人

香川県浄化槽協会

写真：屋島  
提供：(公社)香川県観光協会



## 新年のごあいさつ

公益社団法人  
香川県浄化槽協会

会長 山本 忠文

令和4年の新春を寿ぎ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方には当協会の事業各般に亘り、格別のご理解とご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、あらゆる業界においても年間を通じて一昨年から続く世界的な新型コロナウイルス感染症拡大への対応に追われた一年でありました。その中であって、我々の事業目的である地域の生活環境と公衆衛生の向上への寄与に支障をきたすことなく、適正な維持管理の啓発を含めた浄化槽による地域の生活排水対策に関し、当協会が感染防止の必要な対策を講じた上で、法定検査をはじめ各事業を着実に進めることが出来たことは、偏に関係者皆様の温かいご支援とご協力の賜物であり、重ねて衷心より厚くお礼申し上げます。

また昨年、当協会は記念すべき創立50周年という節目の年を迎えることが出来ました。残念ながら、8月に予定しておりました記念式典は本年に延期となりましたが、「創立50周年記念表彰式」の挙行、更には「創立50周年記念誌」を発行し、皆様のお手元にお届け出来ましたことで、先人先輩方が協会と共に歩んでこられた足跡を後世に引き継ぎ、また新たな歩みを進めるべく、決意を新たにいたしました所でございます。それは地域の水環境の守り手としての社会的使命、責任であり、この50周年を機に我々業界の重要性、必要性を再認識した次第です。

さて、皆様方のご協力により、継続的に電話による受検啓発、検査の効率化等を進めて参りました結果、11条検査受検率はこのコロナ禍の状況におきましても、令和2年度受検率が53.9%となり、令和3年度におきましても堅調に推移しております。今後も新たな気持ちで更に高い目標に向けて職員一同結束して前進して参ります。

令和2年4月に施行された改正浄化槽法の趣旨である浄化槽台帳の整備については、これまでも継続的に進めており、宛先不明や休止施設への実態調査を行い、正確な台帳が維持できるよう努めて参ります。また、同じく改正浄化槽法に定められた単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換に関する措置については、かねてより具体的な施策の実現が課題とされており、今後、行政関係者様のお力添えも頂きながら、県民の期待に応えるためにこれを具体化し実現することで、更なる浄化槽の適正な維持管理の推進を図って参ります。このことは、浄化槽が持続可能な循環型社会の構築に重要な役割を担うものとしての地位を確立する一歩に繋がるものと確信しております。

令和2年度よりその受講が設置整備補助金交付の要件となった浄化槽設置者講習会は、前年同様、新型コロナウイルス感染症拡大により、一部代替措置での対応となりましたが、新規感染者数が減少した昨年10月からは各会場での講習を再開し、現在は事業開始当初の講習会受講者に対する11条検査案内が発出し始めている状況です。今後はその結果を的確に検証し、適正な維持管理の実施及び受検率の向上へとその成果を着実に繋げて参りたいと考えております。

同時に、コロナ禍を契機に災害時対策としても重要な施策となり得る業務システムのデジタル化やIT導入推進に取り組むべく、所内の若手職員を中心としたワーキンググループ会議を立ち上げ協議検討した結果、電話機能とシステム検索を連動したCTIの導入、連絡事項の電子ノート化、テレワークの試行導入等の所内施策を実施しました。今後もDX（デジタルトランスフォーメーション）を推し進め、業務効率化、生産性の向上等を図ると共に、将来的な組織の担い手育成に向けて、事務局組織の一層の体制強化を図って参ります。

最後になりましたが、会員各位並びに関係者皆様のご健勝と益々のご発展をご祈念申し上げますとともに、当協会への倍旧のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のごあいさつ

香川県環境森林部

部長 木村 士郎

新年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆さま方には、本県の環境行政の推進について、平素から格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、香川県は、多島美を誇る瀬戸内海に面し、讃岐山脈から流れる河川やため池など、身近に親しめる水環境に恵まれている一方で、温暖少雨の気候に加え、狭い土地を高度に利用しているため、河川などの公共用水域が水質汚濁の影響を受けやすい状況にあります。

そこで、県では、公共用水域の水質改善と県民が快適で衛生的な生活を実感できる環境づくりを目指して、平成28年3月に、令和7年度を目標年次とした「第4次香川県全県域生活排水処理構想」を策定し、生活排水処理施設の効率かつ計画的な整備に取り組んでいます。

特に、合併処理浄化槽につきましては、本県における生活排水処理施設の重要な柱の一つとして、積極的に整備を進めており、令和2年度末の合併処理浄化槽の普及率は、全国平均9.3%を大幅に上回る31.9%となっています。

また、浄化槽が正常に機能するためには、適正な維持管理が必要であり、浄化槽管理者には、保守点検や清掃の実施とともに、法定検査が義務付けられています。

令和2年度の11条法定検査の受検率は53.9%となる見込みであり、指定検査機関である貴協会の努力により、年々向上しているところです。県では、引き続き市町や貴協会と連携しながら、構想の実現に向けて、合併処理浄化槽への転換を促進するとともに、より一層の受検率向上を図りたいと考えております。

貴協会および会員の皆さま方におかれましては、社会を支えるために必要不可欠な浄化槽の適正な設置や維持管理にかかる業務を通じて、県民の安心で快適な生活環境の確保に、なお一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

結びに、貴協会の今後ますますのご発展と会員の皆さま方のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、新年のあいさつといたします。



## 新年のごあいさつ

高松市都市整備局

局長 板東 和彦

令和4年の新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様方には、平素より本市の生活排水対策の推進はもとより、市政各般にわたり、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、公益社団法人香川県浄化槽協会が、記念すべき創立50周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。

貴協会におかれましては、法定検査を実施する県内唯一の検査機関として、浄化槽の普及促進や維持管理を始め、法定検査の受検推進に関する各種啓発活動に積極的に取り組まれ、公衆衛生の向上に多大な御貢献をされておりますことに、深く敬意と感謝の意を表する次第でございます。

さて、本市では、「第4次高松市生活排水対策推進計画」に基づき、公共下水道と合併処理浄化槽を両輪とする生活排水処理施設を計画的かつ効率的に普及することとしておりますが、本市の汚水処理人口普及率は、全国平均を未だ下回っている状況であり、特に、下水道事業計画区域外におきましては、公共用水域の水質汚濁の原因となっている単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に、積極的に取り組んでいるところでございます。

また、浄化槽の適正管理に欠かせない第11条法定検査の受検率は、貴協会の御尽力により、令和元年度49.2%から令和2年度52.1%と順調に向上いたしておりますが、依然としてその更なる向上が重要な課題であるものと認識しております。

こうした状況の中、合併処理浄化槽への転換促進、法定検査の受検率向上、浄化槽管理者への啓蒙・啓発活動などに関する更なる取組の推進には、貴協会を始め、関係業界の皆様方の御理解と御協力が不可欠であると存じておりますので、本年も何卒よろしく願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と会員皆様の御健勝、御活躍を心から祈念申しあげ、新年の御挨拶といたします。

## おめでとうございます

11月5日(金)、新型コロナウイルスの影響で延期となっていた憲法記念日各界功労者知事表彰式が行われた。香川県浄化槽協会理事等として環境衛生の向上に寄与されその功績が顕著であったと、矢田理事が受賞された。

憲法記念日 香川県知事表彰



公益社団法人香川県浄化槽協会  
理事 矢田 均氏

## おめでとうございます

環境省環境再生・資源循環局長表彰



公益社団法人香川県浄化槽協会  
副会長 横井 宏之氏

## 令和3年度市町職員研修会（現地研修）開催される

令和3年10月1日(金)に小豆島町、令和3年10月5日(火)に善通寺市、令和3年10月7日(木)にさぬき市で、香川県合併処理浄化槽推進協議会は、浄化槽設置整備事業における各市町の担当職員が実施する完了検査業務が円滑に行われることを目的として、市町職員研修会（現地研修）を実施した。当協会からは、小豆島町で小西業務部長、宮川検査第1課長、善通寺市で宮川検査第1課長、阿部係長、さぬき市で阿部係長、佐々木主任が講師として出席した。各市町の担当職員の方々には、今後の業務に役立つ研修会・講習会となった。



小豆島町現地研修



善通寺市現地研修

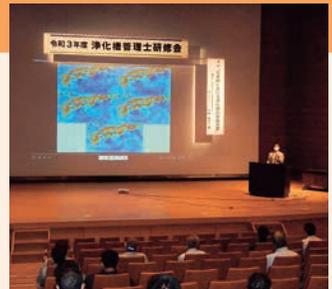


さぬき市現地研修

10月1日	令和3年度市町職員研修会（小豆島町）	11月12日	高松市環境学習（高松市立川島小学校）
10月2日	浄化槽設置者講習会（綾歌総合文化会館）	11月15日	建産連理事会及び役員会
10月4日	不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）	11月16日	第3回エコアクション21導入セミナー（県庁）
10月5日	令和3年度市町職員研修会（善通寺市）	11月19日	環境学習（高松市立香西小学校）
10月6日	浄化槽設置者講習会（協会大会議室）	11月24日	不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）
	高松市環境学習（古高松南小学校）	11月25日	第2回災害対策特別会議
10月7日	令和3年度市町職員研修会（さぬき市）	11月26日	環境学習（高松市立三溪小学校）
	不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）	11月29日	不適正浄化槽立入指導（香川県西讃保健福祉事務所）
10月14日	不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所）	12月1日	浄化槽設置者講習会（協会大会議室）
10月15日	不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所）	12月2日	不適正浄化槽立入指導（高松市都市整備局）
10月18日	不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）	12月5日	浄化槽設置者講習会（綾歌町アイレックス）
10月21日	第2回エコアクション21導入セミナー（県庁）	12月7日	不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所）
10月26日	不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）	12月9日	第4回エコアクション21導入セミナー（県庁）
10月27日	浄化槽管理士研修会（香川県・高松市主催）	12月10日	浄化槽設置者講習会（中讃保健福祉事務所）
10月29日	令和3年度第2回理事会	12月13日	浄化槽設置者講習会（高松市ふれあい福祉センター）
	令和3年度第2回会長・副会長	12月14日	不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）
	法定検査結果検討委員会	12月16日	浄化槽設置者講習会（観音寺市民会館）
11月2日	不適正浄化槽立入指導（高松市都市整備局）	12月17日	不適正浄化槽立入指導（香川県西讃保健福祉事務所）
11月4日	第5回業務推進検討WG会議	12月20日	令和3年度第3回機関紙編集委員会
11月5日	保守点検業者現場研修会（三木町）	12月21日	浄化槽設置者講習会（中讃保健福祉事務所）
11月8日	不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所）		不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）
11月9日	不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所）	12月23日	浄化槽設置者講習会（みとよ未来創造館）
11月10日	浄化槽設置者講習会（協会大会議室）	12月28日	仕事納め
	不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）		

## 令和3年度浄化槽管理士研修会開催される

令和3年10月27日(水)、穴吹学園ホールにて、香川県及び高松市主催の浄化槽管理士研修会が開催された。講師に、公益財団法人日本環境整備教育センター 調査・研究グループリーダー 仁木 圭三氏を迎え、「災害時における浄化槽の被害対策」と題して講演が行われた。参加者は災害時の浄化槽への対応について、熱心に聴き入っていた。



## 令和3年度浄化槽保守点検技術向上現場研修会を開催

令和3年11月5日(金)、香川県からの委託事業である浄化槽維持管理強化指導業務の一環として、浄化槽保守点検業者を対象とした保守点検技術向上現場研修会を、三木町内にて開催した。

午前中は、講師に公益財団法人日本環境整備教育センター 調査・研究グループリーダーの仁木 圭三氏を迎え、「小型浄化槽の構造と維持管理について」をテーマに、三木町文化交流プラザにて講習を行なった。

また、午後からは現場研修としてJA香川県広域育苗センター三木の浄化槽について、維持管理を行う上での留意点について説明を行なった。

その後、パックテストを使用して硝酸やアンモニウムを測定する実習を行った。参加者からはたくさんの質問が飛び交い、大変有意義な現場研修会となった。



# 水環境出前講座実施

令和3年10月6日(水)高松市立古高松南小学校で4年生118名、令和3年11月12日(金)高松市立川島小学校で4年生75名、令和3年11月19日(金)高松市立香西小学校で4年生78名、令和3年11月26日(金)高松市立三溪小学校で4年生96名を対象に、環境学習を実施した。1時限目は座学として地球の水循環と、私たちの生活の中で使う水の量や、河川や海の汚染原因について説明を行った。また、汚れた水を浄化槽できれいにする仕組みや微生物についても説明し、休み時間にはタブレットで微生物の動画や浄化槽パネル等を見学してもらった。2時限目は古高松南小学校、川島小学校、三溪小学校では近くの川の水で水質テストによるCODや透視度を測定し水質調査を行った。香西小学校、三溪小学校では水を入れたペットボトルにティッシュペーパー、トイレトペーパーを入れてペットボトルを振り、溶け具合の違いを観察した。香西小学校ではトイレトペーパーを溶かした水を、手作りのろ過装置に通して水が綺麗になることを確認した。生徒たちは今日学んだことを授業の最後に発表した。

この水環境出前講座は、高松市都市整備局下水道部下水道業務課が主催する環境学習で、令和元年度より高松市からの委託事業の一環として当協会が実施しているものである。



古高松南小学校



川島小学校



香西小学校



三溪小学校

**事務局より**  
●**新人職員** ●よろしくお願ひします。  
(令和3年10月1日付)  
松尾 祐志 (業務部検査第3課)  
塩入 祐貴 (業務部水質試験室)

## 会員計報

謹んでお悔やみ申し上げます  
(有)小豆島設備工業

蓮池 照徳氏  
令和3年8月28日(一)逝去

●当協会のホームページがリニューアルされました。スマートフォンやタブレット端末からもご覧いただけるレスポンスサイトで作成しております。今後とも、内容の充実を図るとともに、わかりやすく情報を発信してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

香川県浄化槽協会  
ホームページ



## 編集後記

前回お伝えした痛風だが、ほぼ一年ぶりに同じ箇所が痛み出し、取るものもとりあえず件の深酒先生のところへ飛んで行ってロキソニンを貰って来たのだが、迂闊にもテーブルの上に出した次第にしてしまいが、仕方なくカミさん白状した次第である。私の右足と、ストックしてある靴を交互に指差しながら何やらまくし立てる。その電動ミシンのようによく動く彼女の口元を成すすべもなく見つめながら、私はTさんのことを思い出している。

Tさんは私よりひと十年上で、知人との飲み会で知りあった。若いころ家で英国ロンドンでの在住経験があり、現地で日本語学校の講師を務めていたそうだった。本場のスコッチをはじめとするウイスキーやクラフトビールなどに深い造詣があり、なかなかダンディな御仁である。昭和を代表する名ドラマ「太陽にほえろ」に出ていた、故・沖雅也さん演ずる「スコッチ刑事」をたっせ白髪にしてジイさんにして腰痛持ちにしたくらいダンディである。

「ということはTさん、英語ラベラ?」

「まあ、だいたい解る」という英語力で講師を務まるのか、とも思ったが、そもそも日本語教室では全部日本語で授業するので大丈夫、とのことであった。本当だろうか。帰国してからは自宅を増築して英会話教室を開いていたそうだが「だいたい解る」英語力で大丈夫だったのだろうか。

「英語は女房が教えていた。…そうである。」

そのTさんから離婚した、と聞かされたのはコロナ過の一年ほど前だろうか。所謂熟年離婚である。当初はさすがに落ち込んでいたようだが、先祖にラテン系の血筋の人であったのか、何事にも前向きな彼は立ち直りは早かった。お酒と同じくらい旅行が好き、と言っていた彼は趣味と実益を兼ねて念発起、大型二種免許を取って長距離バスの運転手に転換してしまっただのだ。それからしばらくは仕事で行く先々の写真を楽しみにSNS等にアップしていたのだが、それだけでは飽き足らず、酒好きの彼は酒屋さんや蔵元が主催する試飲会、酒の会等にも足しげく通い、自身も怪しげな飲み会を主催していたが、そういつた人脈を生かして「蔵元杜氏体験・日本酒試飲ツアー」なるものを自ら企画・立案し、実現させてしまったのだった。そしてツアーの成功を足掛かりに、全国各地の酒蔵見学ツアーも目論んでいるということだった。企画第弾は高知の銘醸元、日帰りではあるが畿

ズナブルなお値段、と正に言う事なしのツアーである。当初「杜氏体験ねえ」とあまり乗り気ではなかったカミさんが、

「お昼はウナ:「行く!」

「しかも飲みほうだ:「行く!!」

とかおせ気味に即答したものである。ツアーは即日完売、満員御礼となり、上々の滑り出しとなった。バスは高松を出発、途中乗客を拾いながら、最終組である私たちの待つ普通寺バスターミナルへとTさんが颯爽とハンドルを操るツアーバスが現れる:はずであった。

ところが予定時刻になってもバスは来ない。10分経ち、20分経つても来ない。まあ、遅刻してくる乗客もいるだろうと思っているうちにようやくバスは到着、やれやれ、と乗り込んだが、なんとTさんは運転手でもなく添乗員であった。さほどTさん、こそり軟むつたりやな、と合点したところでツアーは出発したが、Tさん、なんだか元気がない。

初めての杜氏体験も面白く、鯉のコースを肴に頂く新酒も大変おもしろく、大満足のツアーだったが、Tさんは最後までお酒を口にすることはなかった。さてはTさん、どこか身体を壊したのかもしれない、深酒先生を紹介しなくては、と思っていたが、後日になって

「Tさん、クビになったらいい」

と聞かされてびっくりした。なんでも、あのツアーの前日飲み過ぎて当日の乗車前のアルコールチェックにひっかかったらしく、急遽乗務員の交代やんやで出発が遅れたらしいのだ。本人は責任を取って自分から辞めた、と言っているとのことだが...

こうして、Tさんの企画ツアーは第2回目をもってめでたく終了と相成ったわけである。

再び、当初は落ち込んでいたようだが、ラテン系の血を引くに違いないTさんは常に前向きである。現在は違うバス会社に就職し、長距離ではなく短距離が、路線バスとスクールバスを運転し、コロナで仕事がない時も休業補償が出たことをこれ幸いと夜な夜な怪しい酒の会を催していたのであった...

「ちょっと、人の話聞いての!」

我に返るとカミさんがこちらを睨んでいる。その眼が休・肝・日と言っている。やれやれ...。Tさんが羨ましい、という言葉をするので、

「今日も窓の外は透き通るような青空だ。今年も頑張るぞ!」

というわけで、皆さん、本年もよろしくお願ひいたします。

(有)森清掃社 堀家 真大

## ●機関紙編集委員●

- 三好 光信 (株)ハウステック高松営業所
- 鷲岡祐一郎 (株)サンキ
- 吉田 歩 シコク環境ビジネス(株)
- 堀家 真大 (有)森清掃社

○印は、委員長です

## 「よみがえる水」No.104

- 発行年月 令和4年1月
- 発行所 公益社団法人 香川県浄化槽協会  
〒761-8012 高松市香西本町1番地106  
TEL(087)881-6600 FAX(087)881-6670
- 発行責任者 会長 山条 忠文
- ホームページ <https://www.kagawajk.jp>
- Eメール [kjk@kagawajk.jp](mailto:kjk@kagawajk.jp)